

第 6 次竹原市総合計画について

H29.11.10 企画政策課

1 趣旨

市政運営の指針となる「第 5 次竹原市総合計画（以下「現行計画」という。）」が、平成 30 年度に計画の最終年次を迎えることから、現行計画の成果検証を行ったうえで、社会・経済情勢等の変化に対応する新たな市政運営の指針とする「第 6 次竹原市総合計画（以下「次期計画」という。）」を策定する。

2 次期計画の概要

計画の位置づけ

行政運営全体の総合的な指針で、竹原市のすべての計画の基本となる最上位計画
計画の構成

次期計画は、基本構想と基本計画（前期・後期）の 2 部構成

計画期間及び内容

ア 基本構想 平成 31 年度～平成 40 年度（10 年間）

竹原市の 10 年後の将来像とその将来像を実現するための取組み方針を示すもの

イ 前期基本計画 平成 31 年度～平成 35 年度（5 年間）

基本構想で示した将来像を実現するための前期 5 年間の取組みを示すもの

ウ 後期基本計画 平成 36 年度～平成 40 年度（5 年間）

前期 5 年間の取組みや社会・経済情勢等の変化を踏まえ、基本構想で示した将来像を実現するための後期 5 年間の取組みを示すもの

3 次期計画の策定方針

市の将来像と実現に向けた取組み

本市における課題や社会状況の変化を踏まえ、本市が目指す 10 年後の将来像を示すとともに、その実現に向けた取組みを明確にする。

数値目標の設定

具体的な数値指標となる目標値を設定し、将来像を実現するための施策とその取組方法を示す。

計画の実行性を高める仕組みづくり

社会状況等の変化に柔軟に対応し、将来像の実現性を高めるため、予算編成、施策評価などと連動した P D C A サイクル（計画 (PLAN) , 行動 (DO) , 検証 (CHECK) 改善 (ACT)）を構築する。

4 計画策定スケジュール

項目	29 年度		30 年度			
	11～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
審議会開催	●	●	●	○ ○ ○ ○ ○	●	●
現行計画の総括	■		状況に応じて			
基礎調査及び分析	■					
市民意識調査	■					
パブリックコメント			■		■	
基本構想・基本計画の策定	■					
基本構想の議決					●	
議会説明	●		●	●	●	●

5 審議会開催予定（第 4 回以降の開催回数は状況により変動する）

回数	開催時期	審議内容
第 1 回	H29.11.10	総合計画諮問，計画概要・スケジュール等審議
第 2 回	H30.3 下旬	基本構想骨子案審議
第 3 回	H30.5 下旬	基本構想案審議
第 4～7 回	H30.7 月上旬 ～10 月上旬	基本構想案審議，前期基本計画案審議（計画策定の進捗にあわせて開催）
第 8 回	H30.11 月上旬	総合計画案総括審議，基本構想答申
第 9 回	H31.1 月上旬	総合計画答申